

第2回

20 にじゅうまるプロジェクト

パートナーズ会合

にじゅうまる COP2

2020



にじゅうまるメンバー全体会合

2016年 2月20日(土) 午前

記念フォーラム

2016年 2月20日(土) 午後

分科会

2016年 2月21日(日)

名古屋大学 東山キャンパス
野依記念学術交流館

2010年に日本で開催された生物多様性条約COP10の最大の成果「愛知ターゲット」。2014年COP12でその中間評価が行われました。この世界目標達成に取り組もうと、市民として、企業として、自治体として頑張る人々をつなぎ応援する「にじゅうまるプロジェクト」が、市民からの中間評価を行い、2020年の達成に向けた活動を考える場を作ります。

主催

IUCN日本委員会 にじゅうまるプロジェクト

共催

名古屋大学大学院環境学研究科, 日本自然保護協会, WWF ジャパン, CIジャパン, 野生生物保全論研究会, 国立環境研究所, ラムサール・ネットワーク日本, CEPAジャパン, 生物多様性かんざい, 国連生物多様性の10年市民ネットワーク, 四国生物多様性ネットワーク, 生物多様性わかものネットワーク, 東部丘陵生態系ネットワーク協議会(予定)

協力

UNDB市民ネット中部グループ、なごや環境大学

後援(予定)

外務省, 環境省, 農林水産省, 国連生物多様性の10年日本委員会, 愛知県 など

概要

2/20(土)

10:00 ~ 12:00 開会・全体会合
13:00 ~ 17:00 記念フォーラム
17:00 ~ 18:00 ポスターセッション
18:00 ~ 20:00 交流会(立食パーティ形式)

2/21(日)

09:30 ~ 15:00 分科会
15:30 ~ 16:30 総括・閉会

全体会合

にじゅうまるプロジェクトのこれまでの成果と今後のプランを話し合う場。メンバーでなくとも大歓迎。

記念フォーラム

詳細はウェブサイトへ
<http://bd20.jp/cop2/>

もう一度愛知から 2020へのブレイクスルー

愛知ターゲット目標年の2020年の世界と日本、そのなかの自分達を想像してみよう。都市デザイン・ビジネス・サイエンスのスペシャリストが読む2020年の日本をヒントに、私たちの活動の未来像を考えます。

講演者： 涌井史郎氏 東京都市大学 環境学部 教授
： 日比保史氏 CIジャパン代表理事、IUCN日本委員会副会長
： 山野博哉氏 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター長

ポスターセッション

全国各地の工夫に富んだ取組事例の数々が並びます。

交流会

全国から集う、地域、立場、フィールドを越えた人の多様性(ダイバーシティ)を楽しもう。(参加費 3000円)

分科会

21日(日) 9:30 ~ 15:00

テーマは「主流化」

1. わかものを巻き込むために

生物多様性わかものネットワーク

2. 動植物園の活用で生物多様性認知度をUP!

CEPAジャパン/国連生物多様性の10年市民ネットワーク

3. 企業と市民の連携促進

(調整中)

4. 地域にとって必要な生物多様性地域戦略とは

四国生物多様性ネットワーク

5. 魚食クライシス ~生物と文化の多様性~

名古屋大学大学院 環境学研究科 夏原研究室

6. 目標3 (奨励措置・補助金) COP13に向けた提言づくり

認定NPO法人 野生生物保全論研究会 (JWCS)

7. 田んぼ10年プロジェクトの歩みと 水辺の生きものがつなぐ田んぼと干潟

ラムサール・ネットワーク日本

8. どこをどう守る?効果的な保護地域の実現へ

国立環境研究所

お申し込み

下記URL の 申し込みフォーム へ

<http://goo.gl/forms/xd3H8k9bFZ>

お問合せ



国際自然保護連合日本委員会
にじゅうまるプロジェクト事務局
担当: 道家、佐藤、石黒

bd.20.contact@gmail.com

当催事は、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金、
経団連自然保護基金の助成を受けて開催します。

参加費

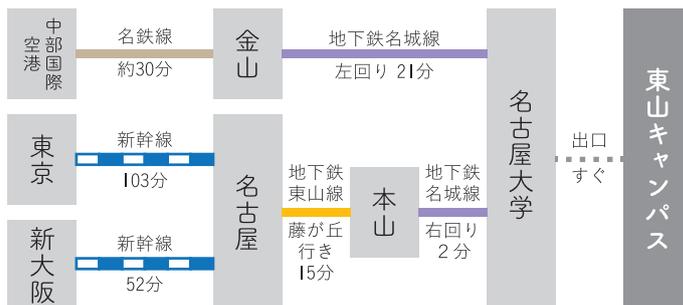
全体会合・記念フォーラム・分科会 … 資料代として500円
交流会 … 参加費3000円

会場

名古屋大学 東山キャンパス
野依記念学術交流館

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

地下鉄名城線名古屋大学駅下車
2番出口から 徒歩5分



20にじゅうまる プロジェクトとは

市民、企業、自治体を、つなぐ、つなぐ、にじゅうまる

「愛知ターゲット」とは、生物多様性の損失を止め「人と自然が共生する社会」を作るために、多様な人々（国際機関・政府・自治体・科学者・企業・NPO・市民・農家・漁師・・・）が、2020年までに、立場を越えて達成するべき20の目標です。

「にじゅうまるプロジェクト」は、この世界目標達成に取り組みようと、市民として、企業として、自治体として頑張る人々をつなぎ応援するため、国際自然保護連合日本委員会を中心に、2011年10月にスタートしました。「愛知ターゲットを知り、自分達の活動とのつながりに気づき、そして、生物多様性のアクションを宣言する。」という参加型の仕組みです。

宣言されにじゅうまるメンバーの活動は、国際会議で日本の愛知ターゲット達成に向けた取り組みとして発表されたり、活動展示などで紹介されるなど、活動を伝えていく先が広がっていきます。ぜひ、「にじゅうまる宣言」をして、愛知ターゲットの達成をめざす仲間に加わってください。

<転送・転載歓迎>

2010年、愛知県名古屋市で誕生した、生物多様性条約の「愛知ターゲット」。人と自然、人と人が、上手に・長く付き合っていくために、2020年までにやらなければならないことを20の目標にまとめたものです。この20の目標に取り組む人達を繋ぎ、新たな活動を生みだしていくきっかけ作りを行う「にじゅうまるプロジェクト」では、2年に1度、全国で活動する人達が集まる機会を作っています。

愛知ターゲットの中間年となる今年は、愛知ターゲットが誕生した地にある名古屋大学で開催することとなりました。

2/20,21(土日)に名古屋で開催の「第2回にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合」についてご案内です。この機会を是非、ご活用ください！みなさまのご参加お待ちしております。

第2回にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合
(にじゅうまるCOP2)
～もう一度愛知から 2020へのプレイクスルー～

特設WEB：<http://bd20.jp/cop2/>

【日時】2016年2月20日(土)10:00～20:00, 2月21日(日)9:30～16:30

【会場】名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流会館
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
<http://www.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>

【参加費】500円(資料代として)

【定員】180名

【お申し込み】

下記のWEBサイトのお申し込み専用ページより、2月12日(金)お申し込みください。

http://bd20.jp/cop2/?page_id=15

(廃棄物の少ない運営をめざしております。交流会、資料準備など参加者数の把握のため事前登録にご協力ください。)

【プログラム】

2/20

■午前：全体会合

にじゅうまるプロジェクトの2年間の成果を紹介するとともに、プロジェクト推進の課題について、会場にお越しの皆様と一緒に議論します。

■午後：記念フォーラム

愛知ターゲット目標年の2020年の世界と日本、そのなかの自分達を想像してみよう。

都市デザイン・ビジネス・サイエンスのスペシャリストが読む2020年の日本をヒント

に、私たちの活動の未来像を考えます。

講演1. 2020年の世界(生物多様性・気候変動・国連持続可能な開発目標(SDGs)まとめて)

涌井史郎 氏(東京都市大学 環境学部 教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長、なごや環境大学学長)

講演2. ビジネス関連 世界自然資本フォーラム、2020年までの重要な動きについて

日比保史 氏(コンサベーション・インターナショナル・ジャパン代表理事)

講演3. 学術分野から IPBES、科学コミュニティとしての動き、市民科学の可能性

山野博哉 氏(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター長)

詳しくはこちら→ http://bd20.jp/cop2/?page_id=6

■交流会【参加費3000円】

講演者を含む、国内外で生物多様性の主流化に取り組むメンバーとの情報交換をしませんか？

